

RV34x:ルーターがNATデバイスの背後にある場合、L2TP/IPsecが失敗する

要約

RV34xがネットワークアドレス変換(NAT)デバイスの背後にある場合、レイヤ2トンネリングプロトコル(L2TP)/インターネットプロトコルセキュリティ(IPsec)は失敗します。このドキュメントは、この問題を強調し、解決するために従う必要がある手順を定義するために作成されています。

該当バージョン

すべて

指定日

2020年3月16日

解決日

N/A

影響を受ける製品

RV34xシリーズ

Bug ID

CSCvt43786

問題の説明

RV34xルーターがNATデバイスの背後にある場合、L2TP/IPSecは失敗します。ログは、フェーズ2ネゴシエーション中にルーターがクライアントから「削除」通知を受信したことを示している場合があります。Shrew SoftのようなIPsecクライアントは正常に動作します。これは、Microsoft Windowsの問題が原因です。このドキュメントでは、両側でNATを許可する回避策を定義します。

回避策

この問題は既知であり、文書化されています。詳細については、『[Connecting L2TP/ IPsec VPN Server Behind a NAT, Error Code 809](#)』を参照してください。

詳細については、『[How to configure an L2TP/IPsec server behind a NAT-T device in Windows Vista and in Windows Server 2008](#)』を参照してください。

レジストリを変更しない場合は、次のオプションを使用します。

- RV34x WANでパブリックIPアドレスを設定できます。
- IPSec専用VPNクライアントを使用します。